

令和4年度 国際専門研修プログラム研修報告

外国語学部 教授 津村 文彦

プログラム名	多言語を用いた非英語圏での国際フィールドワーク
開催場所	タイ（コンケン、バンコク）
開催期間	2022年8月21日（日）～9月1日（木）

2022年8月に外国語学部の授業「国際フィールドワーク II（非英語圏）」に関連して、海外研修プログラム「多言語を用いた非英語圏での国際フィールドワーク」を実施した。プログラムへの参加者は外国語学部3年の8名である。前期に9回の事前研修にてタイの文化・社会について学ぶとともに、現地での発表の準備を行い、夏期の現地研修を挟んだのち、後期には6回の事後研修を実施して、就職活動を見据えて経験を言語化する訓練をするとともに、研修の報告書を作成した。

現地研修では、最初の8日間（8月21日から28日）は、名城大学の協定校でもあるタイ・コンケン大学人文社会学部の協力のもと研修を行った。22日から25日にかけて、タイ語学習に加え、コンケン大学生の協力のもと、日タイ文化比較のプレゼンテーションの準備を行った。26日にはコンケン大学生60人程度が参加するなかで、名城大生は3グループに分かれてプレゼンテーションを実施し、それぞれアルコール飲酒文化、中等学校での校則、年中行事の文化比較を行い、それぞれの文化の背景にある価値観について発表を行った。27～28日は村落滞在を行い、手工芸を体験するとともに、仏僧への托鉢、守護霊祭祀、バイシースクワン儀礼など宗教実践にも参加して、東北タイ村落の日常を五感を通じて学習した。28日にバンコクに移動して以降は、名城大学OBで構成されるタイ名城会や関連企業を訪問したり、バンコク市内の仏教寺院やショッピングモールなどを見学した。

帰国時のPCR検査が必須であるなど、まだコロナ禍の特別措置が多いなかでの短期研修であったが、やはり直接現地に赴き、同年代の大学生と顔を合わせて議論することで得られる経験は他に代えがたい貴重なものであることを改めて確認でき、運営面でも今後の研修実施に活かせる多くの経験と知見が得られた。



Semester-留学（カナダ・カルガリー大学）実施報告

本学外国語学部が主催する Semester-留学の一環として、本学外国語学部の 34 名の学生が協定校であるカルガリー大学（カナダ・アルバータ州）において、2022 年 4 月～7 月及び 9 月～12 月までの 14 週間、留学プログラムに参加した。現地では、他国からの留学生とともに、カルガリー大学が実施する Academic English Program に参加し、スピーキング、リスニング、ライティング、リーディングの 4 技能の向上に努めた。当初は、様々な留学生の特有のアクセントや、自分の考えを自分の言葉として英語で伝えていくことの難しさに戸惑いながらも、限られた期間において、最大限の効用を得るために、積極的なコミュニケーションなどを試み、英語力の向上に励んだ。さらに、英語の技能面の学びだけではなく、異なった文化背景の人々との交流やカナダの文化・社会へのコンタクトを通じて、視野を広げながら、次のステップへ学びを深めていくことの大切さに気づく研修となった。